一般演題（ポスター発表）

ポスター会場：2F 多目的ホール

ポスター 1 ［バスキュラーアクセス（医師）］　14:30 ～ 15:00

座長：安田　透（池田バスキュラーアクセス透析内科）

P-001 腕頭静脈狭窄に対してVAIVT単独で長期開存を得た症例

[1]高木病院　腎臓内科、[2]久留米大学医学部内科学講座　腎臓内科部門、[3]高木病院　循環器内科

杉山　美樹[1,2]、藤村　峰志[3]、北島　聡[1]、斧沢　幸司[1]、深水　圭[2]

P-002 高度両心不全を伴う心腎症候群患者に対する血液透析導入期管理の一例

大分大学腎臓内科

森　咲文、工藤　明子、山本　卓哉、三枝　千智、和田　萌美、丸尾　美咲、内田　大貴、鈴木　美穂、福田　顕弘、柴田　洋孝

P-003 シャント閉鎖8年後に旧シャント肢に上腕動脈瘤を形成した一例

[1]久留米大学病院　内科学講座腎臓内科部門、[2]久留米大学　外科学講座心臓血管外科部門

児玉　豪[1]、山本　遼[1]、藤村ひかり[1]、竹中洋一郎[1]、大串　良[1]、和田　有生[1]、南　麻希[1]、柴田　了[1]、金本　亮[2]、深水　圭[1]

P-004 人工血管感染を契機に発症し、抗GM1 IgG抗体陽性を確認したギラン・バレー症候群の維持透析患者の1例

[1]古賀病院21 腎臓内科、[2]宗像水光会総合病院

奥平百合那[1]、木村　幸輝[1]、大園　柚乃[1]、松本有里子[1]、岩谷　龍治[1,2]、奥田　誠也[1]

P-005 シャント穿刺部感染に対してシャント温存と閉鎖を選択した2症例の検討

[1]佐賀県医療センター好生館、[2]佐賀大学医学部附属病院

江崎　美紀[1]、神林眉由理[1]、井本　航[1]、松本圭一郎[1]、中村　恵[1]、宮園　素明[2]

ポスター 2 ［腹膜透析・療法選択］　15:00 ～ 15:30

座長：古庄　正英（鹿児島医療センター腎臓内科）

P-006 重症大動脈疾患を合併し腎代替療法選択に難渋した末期腎不全の1例

佐賀大学医学部腎臓内科

鶴田　将、岡本　梨奈、広松　悟、石田亜由美、橋本　康平、野中枝理子、山﨑　政虎、福田　誠、吉原　万貴、宮園　素明

P-007 輸血困難を背景に腎代替療法を開始した4例の検討

[1]佐賀大学　医療研修センター、[2]佐賀大学　腎臓内科

木原　穂香[1]、澁木　祥太[2]、広松　悟[2]、橋本　康平[2]、野中枝理子[2]、山﨑　政虎[2]、平田　早恵[2]、福田　誠[2]、宮園　素明[2]

P-008 腹膜透析カテーテル位置異常に対し腹壁固定術を行った一例

[1]佐賀県医療センター好生館、[2]佐賀大学腎臓内科
神林眉裕里[1]、江崎　美紀[1]、井本　　航[1]、松本圭一郎[1]、中村　　恵[1]、宮園　素明[2]

P-009 連鎖球菌属による腹膜透析関連腹膜炎を反復した一例

一般財団法人　平成紫川会　小倉記念病院　腎臓内科
中垣　仁博、坪田　孝樹、眞崎　亮浩、深村　　光、岩田　寛子、神山　治木、木村　駿太、
岡本　和大、桑原　郁子、原田　健司

P-010 繰り返す麻痺性イレウスと腹水漏出から被嚢性腹膜硬化症を疑いステロイド治療を行 った一例

[1]JCHO 諫早総合病院　腎臓内科、[2]長崎大学病院 腎臓内科
津田　侑輝[1]、坂本　良輔[1]、本田紗也加[1]、伊福　康平[1]、吉田　有希[1]、西野　友哉[2]

ポスター 3 ［合併症］　14:30 ～ 15:06

座長：田口　顕正（久留米大学医学部内科学講座　腎臓内科部門）

P-011 アルコール依存症の透析患者にチルゼパチドを導入し有効だった1例

[1]長崎腎クリニック、[2]長崎腎病院
橋口純一郎[1]、河津　多代[1]、舩越　　哲[2]

P-012 鼻出血を契機に進行鼻腔扁平上皮癌と診断された維持血液透析患者の1例

[1]佐賀大学医学部附属病院 医療研修センター、[2]佐賀大学医学部附属病院 腎臓内科
松浦　佐紀[1]、岡本　梨奈[2]、荒木　雅子[2]、一木亜由美[2]、橋本　康平[2]、野中枝理子[2]、
山﨑　政虎[2]、福田　　誠[2]、吉原　万貴[2]、宮園　素明[2]

P-013 子宮体癌化学療法中の透析患者で、シャント瘤切除後の発熱精査にて子宮-S状結腸瘻を認めた一例

熊本大学病院腎臓内科
稲岡　克弥、伊達　亮佑、水本　輝彦、中川　輝政、宮里　賢和、濱口　亜実、小野　　真、
泉　裕一郎、安達　政隆、横井　秀基

P-014 血液透析患者における難治性下肢潰瘍に対しワーファリンの関与が疑われた一例

九州中央病院腎臓内科
安藤　翔太、石松由季子、満生　浩司

P-015 心エコーにて、急性の大動脈置換弁不全を発見した一例

医療法人平川内科クリニック
平川　　亮

P-016 腎性貧血の治療に困難をきたし、HIF-PH 阻害薬と ESA 薬併用にて貧血が改善した維持血液透析患者の一例

[1]特定医療法人社団三光クリニック、[2]福岡大学腎臓・膠原病内科
上野　雅代[1]、下村　裕子[1]、藤　亜沙美[1]、上本　慶子[1]、升谷　耕介[2]、斉藤　喬雄[1]

ポスター 4 ［血液浄化・合併症］　14:30 ～ 15:06

座長：尾﨑　智美（福岡県済生会二日市病院　腎臓内科）

P-017 肥満治療薬（チルゼパチド）を導入した血液透析 3 症例の検討

[1]佐賀大学医学部附属病院腎臓内科、[2]佐賀大学医学部附属病院栄養治療部
荒木　雅子[1]、広松　　悟[1]、木村　　縁[1]、橋本　康平[1]、野中枝理子[1]、山崎　政虎[1]、
福田　　誠[1]、吉原　万貴[1]、射場裕美子[2]、宮園　素明[1]

P-018 回腸導管造設後の内科的管理困難な代謝性アシドーシスに対して血液透析を導入した 1 例

佐賀大学医学部腎臓内科
内野　志保、岡本　梨奈、荒木　雅子、澁木　祥太、橋本　康平、野中枝理子、山﨑　政虎、
福田　　誠、吉原　万貴、宮園　素明

P-019 当院のテナパノル塩酸塩の使用経験

社会医療法人雲の聖母会　聖マリア病院　腎臓内科
山下　達郎、坂井健太郎、中野利恵子、曽根崎雄介、大賀　健司、間部　剛章、松井　　礼、
東　　治道

P-020 ガイドライン改定に伴う当院の維持血液透析患者の CKD-MBD 管理状況の検証

国家公務員共済組合連合会　浜の町病院　腎臓内科
冷牟田浩人、中島　由貴、吉田　鉄彦

P-021 透析終盤に出現する喘鳴に対し無酢酸透析液への変更が有効であった一例

熊本大学病院腎臓内科
田代　優加、濱口　亜実、高尾優里子、小野　　真、藤本　大介、中川　輝政、宮里　賢和、
水本　輝彦、安達　政隆、横井　秀基

P-022 原発性マクログロブリン血症に伴う高 IgM 血症に対して血漿交換を行った 3 例

[1]国立病院機構九州医療センター　腎臓・高血圧内科、[2]国立病院機構九州医療センター　血液内科
福井　明子[1]、髙嶋秀一郎[2]、中尾　文彦[2]、井上　真凜[1]、春山　直樹[1]、高瀬　　謙[2]、
岩﨑　浩己[2]、中山　　勝[1]

ポスター 5 ［バスキュラーアクセス（メディカルスタッフ）］　14:30 ～ 15:00

座長：岩丸　智幸（医療法人真鶴会　小倉第一病院）

P-023 当院におけるエコー下穿刺教育の標準化への取り組み

社団医療法人福満会ふくみつクリニック

岡村　諒介、川内　倫宏、谷　悠太郎、酒井美和子、吉良　安弘、石橋　和己、有田　慎治、池森　賢志、鈴居　兵野、尾上　友朗

P-024 KIKU KITを用いたVAスクリーニング ―VA超音波検査との比較検討―

医療法人實信会 まきのせ泌尿器科

木田　智貴、稲盛　孝祐、肝付　涼也、中島　　優、久保　佑輔、大塚　麻由、久保　拓也、日髙　英雄、川元　　健、牧之瀬信一

P-025 客観的指標を用いたシャント管理システムの構築と多職種連携によるシャント閉塞率低下への取り組み

医療法人泯江堂三野病院　臨床工学

大屋　孝稀、和田　佳祐、橋本　綾子、木村由希菜、宮崎正太郎

P-026 PTA治療下における急性閉塞予防策としてのシャントマッサージの有用性の検討

医療法人泯江堂三野原病院　臨床工学

大屋　孝稀、和田　佳祐、橋本　綾子、木村由希菜、宮崎正太郎

P-027 維持透析患者におけるHVSIとアクセス血流量の関連およびカットオフ値の検討

[1]社会医療法人　青仁会　池田病院　ME課、[2]社会医療法人　青仁会　池田病院　血液浄化センター、[3]鹿児島大学病院　消化器疾患　生活習慣分野

川元　大介[1]、蓮池　翔悟[1]、伊東海一星[1]、葎迫　真美[1]、有野　友和[2]、鈴東　正広[1]、古城　卓真[2,3]

ポスター 6 ［透析液・透析関連機器］　15:00 ～ 15:30

座長：西村　典史（如水会嘉島クリニック）

P-028 当院における透析用洗浄剤の比較

[1]医療法人恵光会原病院　臨床工学部、[2]医療法人恵光会原病院　腎臓内科

岩田もも佳[1]、宮本　綾香[1]、伊藤　隆洋[1]、井原　　肇[1]、多田　育弘[1]、左野　翔太[1]、福島　辰朗[2]、野田　律矢[2]、髙村　宏明[2]

P-029 塩素系除菌洗浄剤プロソルブの使用評価

医療法人かぜ　植木いまふじクリニック

小山　和人、河田　健一、増永　真一、中川　能史、西川　典孝、大久保令奈、園田　真吾、濱崎　好延、瀬下　博志、今藤　雅之

P-030 透析装置の保守点検技術向上に向けた取り組み

[1]宗像医師会病院　臨床工学科、[2]宗像医師会病院　腎臓内科
齊藤　隆寛[1]、豊田　佑哉[1]、川添　久司[1]、佐々木　篤[1]、松尾　卓也[1]、今永　純司[1]、
根岸　光彦[1]、島野　　泉[2]、松尾　　大[2]、四枝　龍佑[2]

P-031 透析コンソールとの通信を目的とした当院独自のシステム構築と運用

社会医療法人財団　白十字会　白十字病院
古賀　駿大

P-032 装置統合管理支援システム（DMACS）、透析情報システム（ERGOTRI）導入による臨床工学技士業務のDX化の試み

医療法人　かわい腎臓内科・泌尿器科クリニック
筒井　　亮、森　　亮太、中山　　透、佐藤　清二、川井　康弘、川井　修一

ポスター7　［血液浄化・業務管理］　14:30 ～ 14:54

座長：石田亜由美（佐賀大学医学部　腎臓内科）

P-033 タスクシェアにおける臨床工学技士の穿刺業務の取り組み

佐賀県医療センター　好生館
松本　淳一、中村　　恵、馬場　英明、平野　徳章、山口　晃平、岩本　　渚、永渕　夢茉

P-034 血液透析から間歇補充型血液透析濾過への移行における臨床指標の検討

[1]社会医療法人天神会　新古賀リハビリテーション病院みらい　臨床工学課、
[2]社会医療法人天神会　新古賀リハビリテーション病院みらい　看護部　透析室
小山　剛史[1]、重松　護隆[1]、吉岡　聖奈[1]、藤木　　誠[1]、山下美由紀[2]、清永　恵子[2]、
大場　康恵[2]

P-035 JMS社製クリットラインモニタBVプロアシストの使用経験

社会医療法人福西会 福西会病院
近藤　美穂、中村　芙美、安田　　勇、浜内　亜希、石坂　大樹、松尾　和浩、山下　知士

P-036 インシデント経験時の心身負荷と組織的支援の必要性

[1]社会医療法人　白光会　白石病院、[2]社会医療法人　白光会　白石記念クリニック
松山　未来[1]、有村　智華[2]、岡村　龍也[1]、屋　　万栄[1]、徳永　公紀[1]、森田さやか[1]、
関島　光祐[1]、一ノ宮隆行[1]、尊田　和徳[1]、白石　幸三[1]

ポスター 8 ［看護 - スタッフ教育・管理 1］　14:30 ～ 15:00

座長：古賀　潤一（社会医療法人雪の聖母会　聖マリア病院）

P-037 「二人連続双方型ダブルチェック」導入による体重測定業務の標準化とスタッフの心理的安全性への効果

社会医療法人　三佼会　宮崎病院

北村真由美、吉崎留美子、吉次サユリ、森　　比美、尾上恵美子、田中　理映、宮崎　雅也

P-038 実地指導者育成を通して見えてきた人材育成における認識差 ― 育成に関する共通認識形成の課題 ―

[1]医療法人社団　仁誠会クリニック光の森、[2]医療法人社団　仁誠会クリニックながみね

尾崎美由紀[1]、北野　良子[2]

P-039 看護部スタッフを対象とした透析看護に関する実態調査～「実は不安」を「安心」に変える現場の工夫を探る～

医療法人清明会やよいがおか鹿毛病院

八戸　　希、牟田　優子、城野　弥生

P-040 新人看護師の入職前のニーズと採用イベントの役割の検討～病院見学会とインターンシップへの期待や経験から

医療法人真鶴会　小倉第一病院

椎山　直人、杉本　謄寿、桑原由紀恵、中村　秀敏

P-041 短時間の日中透析を主軸としてきた当院におけるオーバーナイト透析（ONHD）導入の経過と今後の課題

医療法人　真心会　むらやま泌尿器科クリニック

田中　裕子、稲塚　絵美、藤﨑　勝恵、澤井奈保子、今永　至信

ポスター 9 ［看護 - スタッフ教育・管理 2］　15:00 ～ 15:30

座長：鶴　　佳世（聖マリアヘルスケアセンター）

P-042 穿刺時のエコー使用を妨げる要因の検討～スタッフの心理的要因を明らかにする～

[1]医療法人社団　信愛会　信愛クリニック、[2]医療法人社団　信愛会　重松クリニック

篠原　　光[1]、岡本　真博[1]、守屋　洋子[2]、吉田　淳一[1]

P-043 褥瘡予防に対する看護師の意識変容～手順書・マットレス選択フローチャート導入前後の比較～

医療法人如水会　嶋田病院

谷口　麻央、稲葉　佳奈、田中　　香

P-044 ハイリスク透析患者の足病変の重症化を経験して～スタッフ間の情報共有と患者支援の重要性～

[1]田川市立病院　透析センター、[2]田川市立病院　腎臓内科
大庭　真弥[1,2]、伊東　律子[1]、清水喜代美[1]、吉田　　健[2]

P-045 当院における抜針事故に対する意識向上への取り組み～ 10 年前と比較して～

[1]医療法人貴幸会 SK メディカルクリニック、[2]社会医療法人白光会白石病院
柏木　美紀[1]、大木　龍一[1]、久保　和雄[1]、竹之内賢一[1]、岡村　龍也[2]、一ノ宮隆行[2]、
尊田　和徳[2]、白石　幸三[2]

P-046 レベル 0 報告の促進に向けた取り組みとスタッフの意識変化

医療法人　幸善会　前田病院
前田あゆみ、米岡　穂香、鶴田　啓悟、小藤永里子、西山　　凜、服巻日向子、中島　　唯、
林　　和歌、前田　麻木、前田　篤宏

ポスター 10 ［看護 - 患者教育・指導］　14:30 ～ 15:00

座長：守屋　洋子（医療法人社団　信愛会　重松クリニック）

P-047 テナパノル塩酸塩錠導入時の下剤調整および患者説明介入の検討

医療法人社団　健昌会　新里クリニック浦上　透析治療科
水本　　梓、松谷　菜央、松尾　麻衣、升田　政道、吉田　美子、鳥越　未来、一ノ瀬　浩、
新里　健暁、松下　哲朗、新里　　健

P-048 フレイル早期介入体制の構築とその効果 ～ ADL 維持例と転倒骨折例の比較から見えた課題～

医療法人社団仁誠会仁誠会クリニック黒髪
粟戸　美貴、西久保　慶、吉永ちずる、佐藤　理賀

P-049 自己管理困難な糖尿病透析患者に対する CGM を活用した多職種支援の 1 例

医療法人真鶴会小倉第一病院
嶝野　一枝、木村　久美、藤本　良士、中村　秀敏

P-050 多職種連携による PD カテーテル関連感染症に対する取り組み

[1]医療法人幸善会　前田病院、[2]兵庫大学
黒川　理都[1]、古賀千鶴佳[1]、岩野　美彩[1]、植松　研太[1]、平山　穂嵩[1]、林　　和歌[1]、
水内　恵子[2]、前田　篤宏[1]、前田　麻木[1]

P-051 外用局所麻酔剤使用により皮膚トラブルを繰り返す透析患者へのアプローチ ～セルフマネジメント行動変容～

[1]医療法人財団華林会　村上華林堂病院　看護部、
[2]医療法人財団華林会　村上華林堂病院　腎臓内科
山口　沙織[1]、山本　幸恵[1]、高園　良恵[1]、村田　敏晃[2]

ポスター 11 ［危機管理・感染対策］　15:00 ～ 15:36

座長：山口　佳子（医療法人うえの病院）

P-052 透析患者における災害時情報伝達手段の構築と課題

社会医療法人福西会　福西会病院　人工透析室　腎センター
藤田　理絵、中村　芙美、安田　　勇、浜内　亜希

P-053 発災時を想定したシミュレーションにおける看護師の緊急離脱に潜む危険因子

[1]公益社団法人　鹿児島共済会　南風病院、[2]公益社団法人　鹿児島共済会　南風病院　透析室
福吉　泰良[1,2]、石川　直子[1,2]、原田　瑞穂[1,2]

P-054 穏やかな透析ライフの実現に向けて　～ミトン使用を中止し改良版拘束不要ウェアを導入した一例～

医療法人　恵光会　原病院
城戸　陽子、久保なつみ、清水　俊一、池内　道代、髙村　宏明、福島　辰朗、野田　律矢

P-055 空間的隔離とLINE WORKS活用による新型コロナウイルス院内伝播の阻止

医療法人真鶴会　小倉第一病院
牟田　美和、中村　秀敏

P-056 当グループにおける抜針事故防止の取り組み～患者・スタッフの意識向上を目指して～

[1]社会医療法人　白光会　谷山腎クリニック、[2]社会医療法人　白光会　白石記念クリニック、
[3]社会医療法人　白光会　白石病院
是枝めぐみ[1]、藤田奈留美[2]、岡村　龍也[3]、横山　嘉寛[3]、徳永　公紀[3]、関島　光裕[3]、
一ノ宮隆行[3]、尾﨑　厚夫[1]、尊田　和徳[3]、白石　幸三[3]

P-057 安全な透析を目指したCEの取り組み

[1]医療法人恵光会原病院臨床工学部、[2]医療法人恵光会原病院腎臓内科
大垣　駿貴[1,2]、西　　郁哉[1]、伊藤　隆洋[1]、左野　翔太[1]、井原　　肇[1]、多田　育弘[1]、
福島　辰朗[2]、野田　律矢[2]、髙村　宏明[2]

ポスター 12 ［患者管理・環境整備］　14:30 ～ 15:12

座長：横山　陽子（福岡大学病院）

P-058 当院透析室における緩和ケア評価表の有用性

社団医療法人福満会ふくみつクリニック
冨田　　忍、安藤　雅世、平松　千穂、井上奈保子、尾上　友朗、佐内　　透

P-059 寝たきりだからと諦めない。もう一度口から食べるための支援

医療法人かぜ　植木いまふじクリニック
井上　美代、南　　由香、濱田　　綾、境　　美香、村上　　堇、岡山　有香、越猪　真弓、
濵﨑　好延、瀬下　博志、今藤　雅之

P-060 透析患者におけるオーラルフレイル(OF)と栄養指標(NRI ー JH)の関連についての検討

上村内科クリニック
松本裕美子、黒崎　恵美、河部　直美、石塚　俊紀、上村　克哉

P-061 血液透析患者におけるテナパノルの臨床効果と副作用

[1]医療法人　誠晴會　ふきあげ納富病院　透析室、
[2]医療法人　誠晴會　ふきあげ納富病院　泌尿器科
深町恵里佳[1]、甲斐　健太[1]、川﨑　麻衣[1]、橋川　幸司[1]、古屋隆三郎[2]、足立知大郎[2]、
田丸　俊三[2]、納富　　貴[2]

P-062 長時間透析患者における皮膚水分量と掻痒感・スキンケアの実態調査

医療法人 幸善会 天神オーバーナイト透析クリニック
松尾　由紀、松尾　夏紀、北﨑さやか、熊川智恵子、武田　一人、前田　利朗

P-063 環境サービス室による継続的な環境改善への取り組みー小倉第一病院の活動報告ー

[1]医療法人真鶴会小倉第一病院、[2]一般社団法人日本感染管理支援協会
西中　孝友[1]、井上千賀子[1]、告下　真琴[1]、中島　尚子[1]、丸山野仁美[1]、土井　英史[2]、
桑原由紀恵[1]、中村　秀敏[1]

P-064 短時間勤務制度を利用して働く私たち～周囲の受け止め方を調査して～

公益社団法人日本海員掖済会　門司掖済会病院
西田　裕子、丸岡　昌代、長野　香織、池上　幸恵